

## 予防接種カレンダー

ワクチン	種類	乳児期										幼児期					学童期/思春期								
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月	12-15か月	16-17か月	18-23か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上		
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	不活化			①	②	③						④※注1													
肺炎球菌(PCV13)※注2	不活化			①	②	③						④													
B型肝炎(HBV)	ユニバーサル			①	②							③											①②③※注3		
	母子感染予防	①	②									③													
ロタウイルス	1価			①	②																		※注4		
	5価			①	②	③																	※注5		
ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ	1期(DPT-IPV・DPT-DT-IPV)※注6			①	②							③			④								(7.5歳まで)		
	2期(DT)																						11歳① 12歳		
BCG	生											①													
麻しん、風しん(MR)	生												①										②※注7		
水痘	生												①			②									
おたふくかぜ	生												①										②※注8		
日本脳炎	不活化																	①②	③				(7.5歳まで)	④	(13歳まで)
インフルエンザ	不活化																							毎年(10月、11月などに)①②	13歳より①
ヒトパピローマウイルス(HPV)	不活化																							小6 中1 中2~高1	

※注1④は12か月から接種することで適切な免疫が早期に得られる。1歳をこえたら接種する

※注2定期接種で定められた回数PCV7接種を終了した6歳未満の児は、最後の接種から8週間以上あけてPCV13の追加接種を1回行う※ただし任意接種

※注3乳児期に接種していない児の水平感染予防のための接種、接種間隔は、ユニバーサルワクチンに準ずる

※注4計2回、②は、生後24週未満までに完了すること

※注5計3回、③は、生後32週未満までに完了すること

※注6初回接種は20日以上、標準には20日から56日までの間隔をおいて3回行い、追加接種は初回接種終了後6月以上、標準的には12月から18月までの間隔をおいて1回行います。

※注7小学校入学前の1年間

※注8予防効果を確実にするために、2回接種が必要 ①は1歳を過ぎたら早期に接種、②はMRと同時期※5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間での接種を推奨定期接種任意接種